

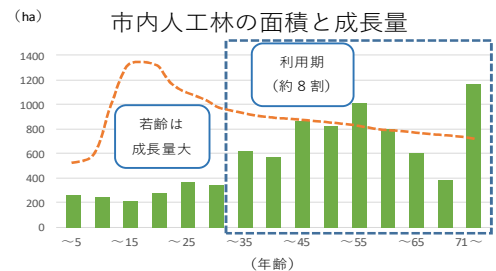
士別市森林吸収源対策推進計画の概要

第1 計画策定の考え方

- 本計画は、本市の森林資源の実情に応じた森林吸収量の維持・増加を図りゼロカーボンシティへの貢献を目的として策定
- 令和12（2030）年度までを計画期間とし、北海道森林吸収源対策推進計画に沿い、士別市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）との整合

第2 森林吸収源対策の現状と課題

- 本市の約74%は森林が占めるなど森林資源に恵まれる一方、人工林の高齢化により、現状のまま推移すると、成長量の低下による森林吸収量が減少
- 吸収量算定の対象となっていない民有林の人工林が、2,630ha存在（全体の約3割）することから、間伐などの森林整備により対象森林の増加を図ることが必要



第3 計画の基本的な考え方

- 本市の森林資源を最大限に活かし、吸収量の維持・増加につながる対策を重点的に進め、本市のゼロカーボンシティの実現に向けた森林づくりを推進

第4 計画の目標等

【めざす姿】 森林吸収量の一層の増加を図り、本市のゼロカーボンシティの実現に貢献

【計画の目標】 植林や間伐等により、令和12（2030）年度の森林吸収量の目標を 133,231t-CO₂ に設定

目標 令和12（2030）年度
133,231t-CO₂

第5 計画の展開方向

1 活力ある森林づくり

○計画的な森林の整備

- ・作業の省力化や低コスト化による森林整備を図り、森林の若返りを推進
- ・二酸化炭素の吸収能力が高いクリーンラーチの植栽を推進

○森林吸収量の算定対象森林の確保

- ・森林経営管理制度や森林環境譲与税などを活用した森林整備による、算定対象林の増加

○効率的な施業の推進と人材の確保・育成

- ・高性能林業機械の導入による効率的な施業の定着
- ・林業に係る担い手の確保、高度な専門的知識を有する担い手の育成

2 市民理解の促進

○森林や木材に関する情報提供

- ・森林づくりなどの理解を深めるため、ホームページや広報を通じた市民への情報発信

第6 計画の推進等

- 森林吸収源対策の役割